

## 第12回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録(案)

1. 日 時：2015年9月11日(金) 13時30分～16時20分
2. 場 所：日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者：尾山(東電)、川端(関電)、近藤(MHPS)、増田(東京PT)、五代儀(火原協)、  
朝倉(東芝)、貞守(中部電力)  
代理者：東(富士電機：橋井)  
欠席者：なし  
オブザーバ：渡邊(東北電力)、吉村(富士電機)、二宮(関電)  
事務局：原

### 4. 配布資料

- 12-1 配管減肉分科会前回議事録案
- 12-2 配管減肉分科会委員名簿
- 12-3 第73回火力専門委員会議事録(案)
- 12-4 第75回発電用設備規格委員会議事録(案)
- 12-5 配管減肉管理に関する規格(CA1-2005)規格委員会書面投票結果
- 12-6 登録安全管理審査機関 JSME 火力規格説明会報告
- 12-7-0-1 改訂提案書
- 12-7-0-2 改訂内容総括資料
- 12-7-1 審議履歴表
- 12-7-2 火力設備配管減肉管理技術規格(TB1-2009)改訂原稿案
- 12-7-3 新旧対比表
- 12-7-4 改訂履歴
- 12-7-5 3方向放射線透過法規格案に関する資料
- 12-7-6 改訂スケジュール(参考資料)

### 5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 12-1]

前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 12-2]

- 竹石委員の退任が報告された。
- 渡邊氏(東北電力)を新任候補として、火力専門委員会に推薦することが、出席委員  
全員の賛成により承認された。
- 所属名の変更
  - 朝倉委員 → タービン機器部配管設計担当
  - 川端委員 保全技術 → 保全高度化
  - 渡邊委員 火力建設 → (火力建設)

### (3) 報告事項

#### (3-1) 火力専門委員会報告 (8月28日開催) [資料12-3]

第73回火力専門委員会の審議内容について、以下のとおり報告された。

- ・分科会委員・役員の承認
- ・第11回配管減肉分科会報告  
減肉管理技術規格(JSME S TB1-2009)改訂の審議状況  
放射線透過式配管減肉測定装置に関する審議状況
- ・配管減肉管理に関する規格(CA1-2005)の改訂提案について、規格委員会書面投票意見対応による改訂案の火力専門委員会における承認。

#### (3-2) 規格委員会報告 (9月9日開催) [資料12-4]

第75回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容について、議事次第をもとに口頭にて報告を行った。

- ・火力専門委員会関連の審議  
発電用火力発電規格の書面投票規No310の意見対応による修正案が承認されたことが報告された。

#### (3-3) 配管減肉管理に関する規格(CA1-2005)の改訂案の規格委員会書面投票結果報告

[資料12-5]

規格委員会の書面投票結果が可決となったこと、および書面投票意見対応による修正案が承認になったことの報告。

修正案は、資料12-5のとおり。

#### (3-4) 登録安全管理審査機関 JSME 火力規格説明会(7/28)報告

[資料12-6]

標記説明会の概要が報告された。

### (4) 審議事項

#### (4-1) 火力設備配管減肉管理技術規格(JSME TB1-2009)の改訂

##### 1) 改訂原稿案、新旧対比表、改訂履歴 [資料12-7-2,3,4]

近藤幹事から「3方向放射線透過法」部分の合体に伴う改訂履歴の修正について、説明があった。

○新旧対比表のページの一部間違っている所は修正する。

○CA1は、公衆審査が年内に完了する見込みなので、年版は2015とする。

##### 2) 3方向放射線透過法について

[資料12-7-5]

富士電機東氏より、3方向放射線透過法に関する提案資料について説明があり審議を行った。

使用する資料および修正点は、以下のとおり。

○火力専門委員会および同書面投票による資料には、A3×2枚の資料とパワーポイントの資料を使用する。

- A3資料2P 4.(2)測定対象配管 内部が空である等の条件を追記する。
- 上記に関連して、配管内が満水の場合のデータをPPTの資料に追加する。
- 同項目の表 表の代わりにグラフによる範囲表示とする。
- A3資料2P 5. 実配管での測定結果・・・②の市販のJIS配管でのデータは、交差範囲でのふれ幅が大きく、誤解を招く恐れがあるので、他のまぎれのない測定例（発電所の実機配管での測定結果等）を探してグラフを差替える。
- A3 1P 3.(1)測定原理・・・ $\mu_0$ は、規格本文の標記に合わせる。  
他の箇所も含めて、全般的に規格本文を正とし、A3の資料、PPTの資料が整合するようにする。
- A3 1P 1.(2)対応経緯・・・火力専門委員会の開催日をH27.12.4に修正する。

■資料を10月中旬までに修正し、メール審議を行う。

### 3) 今後の概略スケジュールの確認

事務局が、資料に基づき火力専門委員会書面投票から公衆審査までの概略スケジュールを説明し、情報を共有した。

## 6. 次回開催予定

日 時：2016年1月22日（金）13時30分～17時00分

場 所：日本機械学会 第3・4会議室

以 上